

MC医師研修(初級)比較(救急救命士が実施する救命処置)

	福岡	兵庫	東京
スライド枚数 (総数)	44	50	スライド なし(レ ジュメと 救命処置 を問う選 択問題)
スライド枚数 (3群で完全に 一致していた もの)	15	13	スライド なし
スライド枚数 (3群で内容的 に一致してい たもの)	5	5	
スライド枚数 (その他)	25	33	
SBOの達成	A	不明	不明
キーワードの 収載	A	B	B

(考察)福岡と兵庫はスライドを使用していたが、東京はレジュメと選択問題なので比較が困難であった。福岡のみGIO、SBO、キーワード、応急処置の法的位置づけがスライドに書かれていた。同一スライドの枚数の違いは、重複使用のため。内容一致スライドについては、特定行為の内訳などの年度違いのため。兵庫分では福岡分に比較して、実証研究の結果、プロトコルの内容、救命士のキャリアパス等にまで踏み込んでいる。

(まとめ)3か所とも救急救命処置の理解という点ではGIOには達していると思われるが、SBOを明確に出しているのは福岡のみであった。SBOの達成を考えるとSBOの提示は不可欠と思われる。また本項目を説明する上で、どこまで実証研究、プロトコル、キャリアパスに踏み込むかは、他項目とのすりあわせが必要と思われる。またSBOの達成を確認するためには、東京で使用されていたような選択問題も有効と思われた。

A・B・Cの3段階評価(A:十分、B:やや不十分、C:不十分)

A・B・Cの3段階評価(A:十分、B:やや不十分、C:不十分)